



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 90 号

R4.12.6

文責 中西 勉



### 見えない相手への思い

今日の給食の時間のことです。「やったー！カレーだー！」と言いながら、1年生の給食当番の子供たちが、とてもうれしそうな顔をして給食を教室へ運んでいきました。子供たちにとって大人気メニューのカレーですが、さて、子供たちはそのカレーをどんな思いで食べたのでしょうか。

カレー一つを取ってみても、にんじん、じゃがいも、たまねぎ、肉など、多くの食材が使われています。それらの野菜や肉の生産者は、それぞれ異なるわけであり、それだけでも何人も人の手がかかっています。さらに、野菜や肉を産地から市場へ運ぶ人々、献立を考える栄養教諭の方々、カレーを作る給食センターの調理員さん、出来上がったカレーを学校まで運ぶ配送車の運転手さん、学校に届いた給食を学級ごとに仕分けて準備する給食補助員さんなど、今日のカレーが子供たちのところに届くまでには、実に多くの目に見えない人々の手によって支えられているのです。子供たちには、そうした「見えない相手への思い」を抱きながら、それらすべての人に感謝して給食を食べてもらいたいです。



また、給食に限らず、ノートや鉛筆など、自分の身の回りにあるほぼすべての物は、見えない誰かが作ってくれたものです。スイッチを押せば電気がつき、蛇口をひねれば水が出るという当たり前のように思えることも、見えない誰かが支えてくれているお陰なのです。学校では、給食指導や学級指導を通して、「見えない相手への思い」を育てることを、今後も大切に指導していきたいと思います。ご家庭でも、この大切な思いについて、お子さんと話をしてくださると幸いです。



### 【サッカーW杯】「記録」よりも「記憶」に残った森保ジャパン

グループリーグE組を1位で通過し、決勝トーナメントに進んだ森保ジャパン。本日午前零時、日本 vs クロアチア戦がキックオフされました。日本は、前半43分に前田大然選手のゴールで、今大会で初めて先制点を奪い、前半を1-0で折り返しました。一方、クロアチアは後半10分に同点に追いつき、その後、一進一退の攻防が続きました。90分では決着がつかず、30分の延長戦にもつれ込みました。それでも勝敗は決せず、PK戦で勝負を決めることになりました。日本は、有利とされる先攻を選んで果敢に攻めましたが、相手ゴールキーパーの好セーブに阻まれ、PK戦は1-3でクロアチアに敗れました。

サッカーW杯カタール大会 日本代表の戦績			
対戦国	勝敗	スコア	日本の得点選手
グループステージ			
	ドイツ	○ 2-1	堂安律 浅野拓磨
	コスタリカ	● 0-1	
	スペイン	○ 2-1	堂安律 田中碧
決勝トーナメント			
	1回戦 クロアチア	● 1-1 (PK1-3)	前田大然

今大会、日本のサッカー史上初のベスト8を目標に戦ってきた森保ジャパンですが、あとわずかのところで目標に手が届きませんでした。しかし、森保ジャパンの数々の戦いぶりは、「記録」よりも「記憶」として、私たちの心にしっかりと刻まれたと思います。森保ジャパンに、心から拍手を送りたいです。